

2021年3月期 第2四半期決算説明会資料

2020年10月30日
株式会社TOKAIホールディングス
(証券コード:3167)

アジェンダ

1. 2021年3月期第2四半期の総括
2. 2021年3月期第2四半期決算のポイント

(お問い合わせ先)

(株)TOKAIホールディングス IR室

e-mail : hd-info@tokaigroup.co.jp

TEL : (03)5404-2891

2021年3月期第2四半期の総括

TOKAIホールディングス
代表取締役社長 鶴田 勝彦

2

2021年3月期第2四半期決算のポイント

主力事業が継続取引顧客基盤を拡大

- 期首の300万件から3万9千件の純増
- 1Qは対面営業制限影響あったが経済活動再開後の2Qに挽回、社内計画達成
- 前年同期の1万6千件を大幅に上回る純増数

コロナ影響を最小限にとどめ、 前年同期並み、かつ計画超えの着地

- 婚礼・宴会など、一部の事業にコロナ影響を受けたものの、主要事業の顧客件数増加に伴う増益などでカバー、営業利益を前年同期並みとした
- 利益項目の全てが社内計画値を上回って進捗

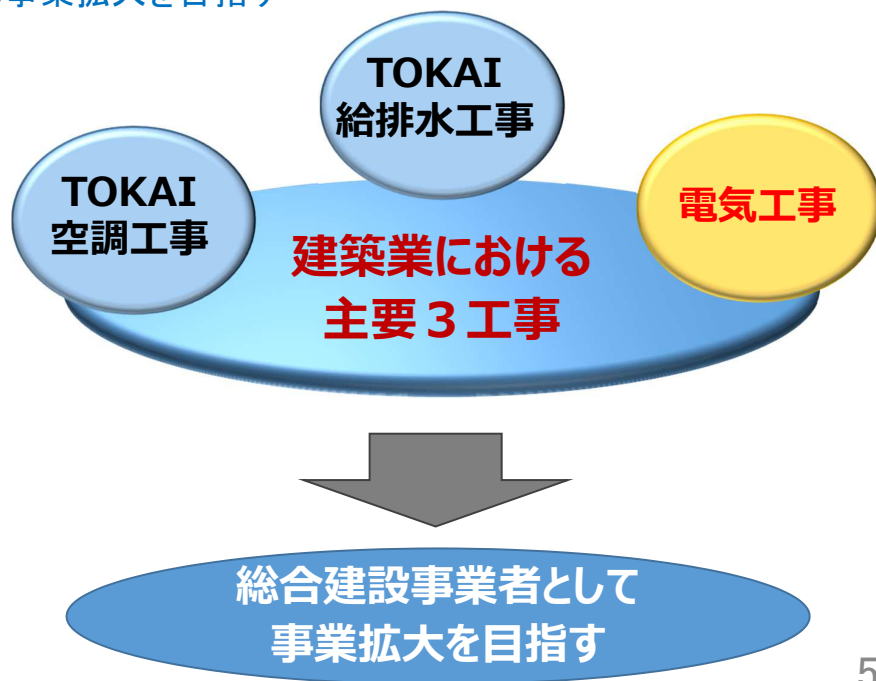
3

2021年3月期第2四半期 M&Aの進捗

(M&A 1案件 / アライアンス 1 案件)

総合建設事業者として更なる事業拡大

- 2020年8月、愛知県において電気工事業を展開する中央電機工事(株)を連結子会社化
- 当社グループは、生活インフラサービスの事業展開で培った技術力や信頼関係をベースに、大型建築の設計・施工のほか空調工事・給排水衛生工事業も展開
- 本件により、建築業における空調工事・給排水工事・電気工事からなる主要3工事の受注体制を構築し、総合建設事業者として更なる事業拡大を目指す



ベトナムでのLPガス市場に参入

- 2020年6月、ベトナムの大手LPガス販売事業者であるペトロセンターグループ傘下の子会社2社の株式を取得し、ベトナムにおけるLPガス市場に参入
- 当社グループの海外拠点は、①中国・上海、②台湾、③ミャンマーに次いで、4拠点目の新たな海外拠点



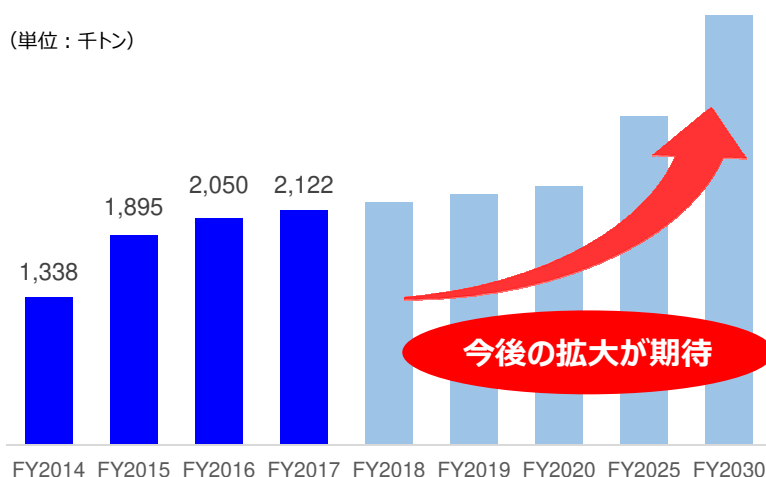
6

LPガス事業の業容拡大を目指す

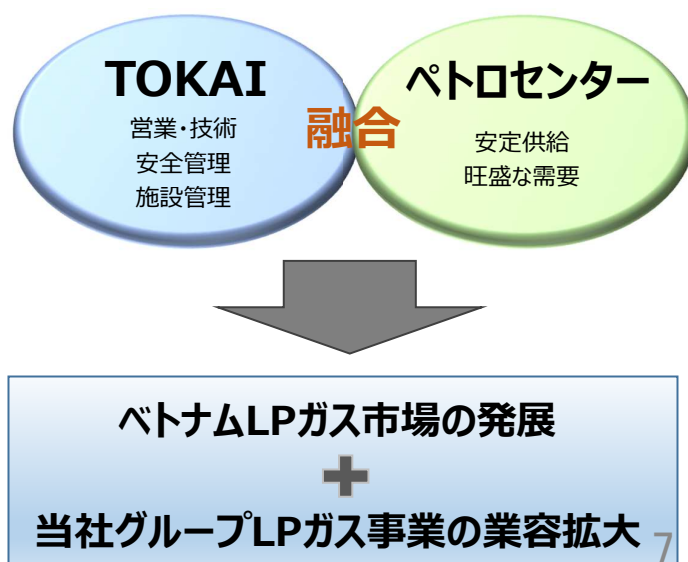
- ASEAN加盟国の中でもトップクラスの成長率を維持しているベトナムは、豊富な労働人口と海外からの直接投資増大を背景に、今後も堅調な経済成長が見込まれる
- ベトナムのLPガス市場についても、今後の拡大が期待されており、当社グループにとっても非常に魅力ある有望なマーケット
- 当社グループが永年培ってきたLPガス事業のノウハウを融合させ、ベトナムLPガス市場の発展に貢献するとともに、当社グループのLPガス事業の業容拡大を目指す

ベトナムLPガスの需要推移

(単位：千トン)



※FY2017まではIEAによる実数値。FY2018以降は推計



7

これまでに13案件のM&Aが成立

➤ 中期経営計画IP20“JUMP”のM&A戦略において、M&Aを10案件、アライアンスを3案件、合計13案件を成立



成長に資する案件を厳選、早期に仕上げ

➤ 13案件が成立したことで、売上高85億円、営業利益6億円、顧客件数350千件が加わり、グループの事業収益基盤が拡大

【M&A・アライアンス実績】

(単位：百万円、千件)

事業	社数	投資額	売上高	営業利益	顧客件数
都市ガス	4社	1,953	626	42	6
CATV	4社	3,997	4,769	221	344
情報通信	2社	655	398	67	—
建築不動産	2社	3,394	2,735	288	—
海外事業	1社	2,992	—	—	—
合計	13社	12,989	8,528	618	350

※都市ガスには、アライアンス2社含む

現在、37案件・1,164億円のM&A案件を検討中

(※上記実績を含む)

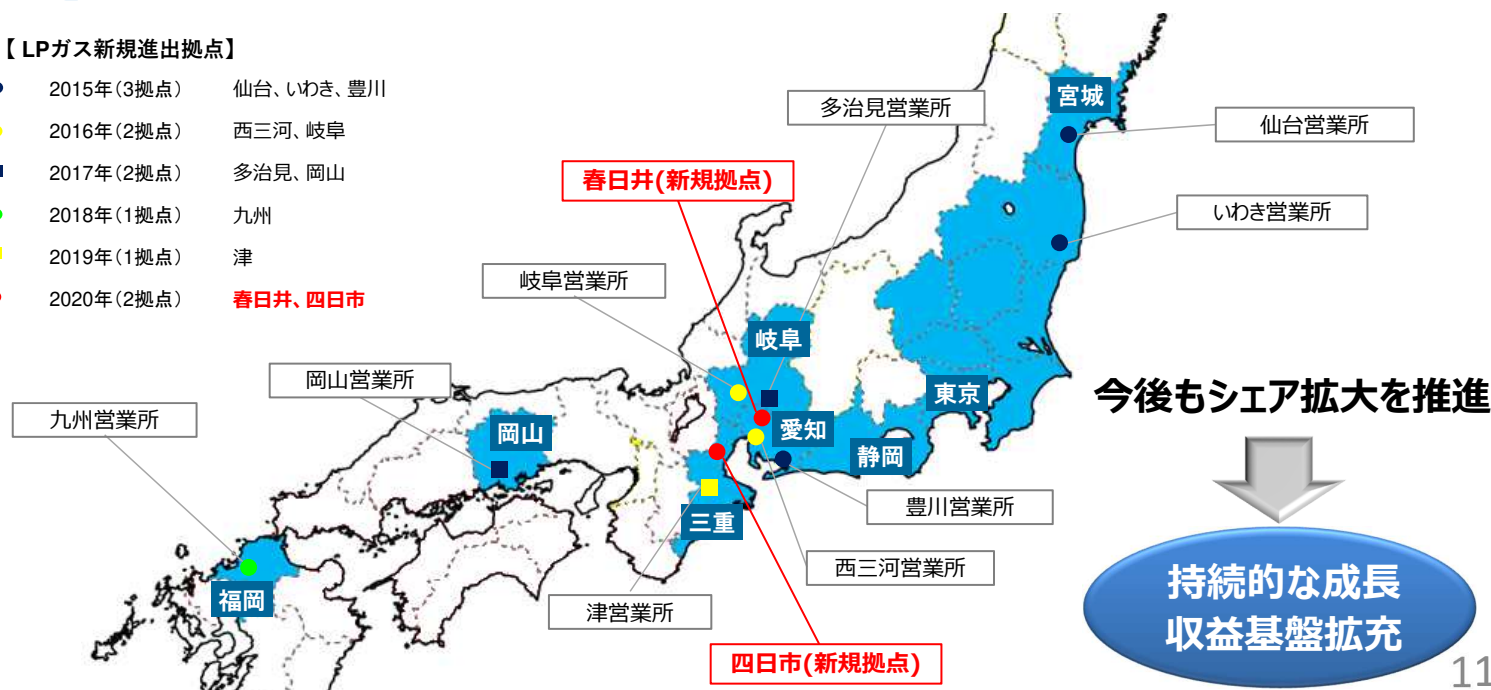
エリア拡大戦略の進捗

エリア拡大戦略により収益基盤を拡充

- 2020年6月、愛知県春日井市と三重県四日市市に新たな営業拠点を開設
- 新規営業エリアに進出することで当社グループのシェアを拡大させ、グループLPガス事業の持続的な成長を実現していく
- 2015年以降合計11の営業拠点を開設。今後もシェア拡大を推進し、LPガス事業の収益基盤拡充を図っていく

【LPガス新規進出拠点】

- 2015年(3拠点) 仙台、いわき、豊川
- 2016年(2拠点) 西三河、岐阜
- 2017年(2拠点) 多治見、岡山
- 2018年(1拠点) 九州
- 2019年(1拠点) 津
- 2020年(2拠点) **春日井、四日市**



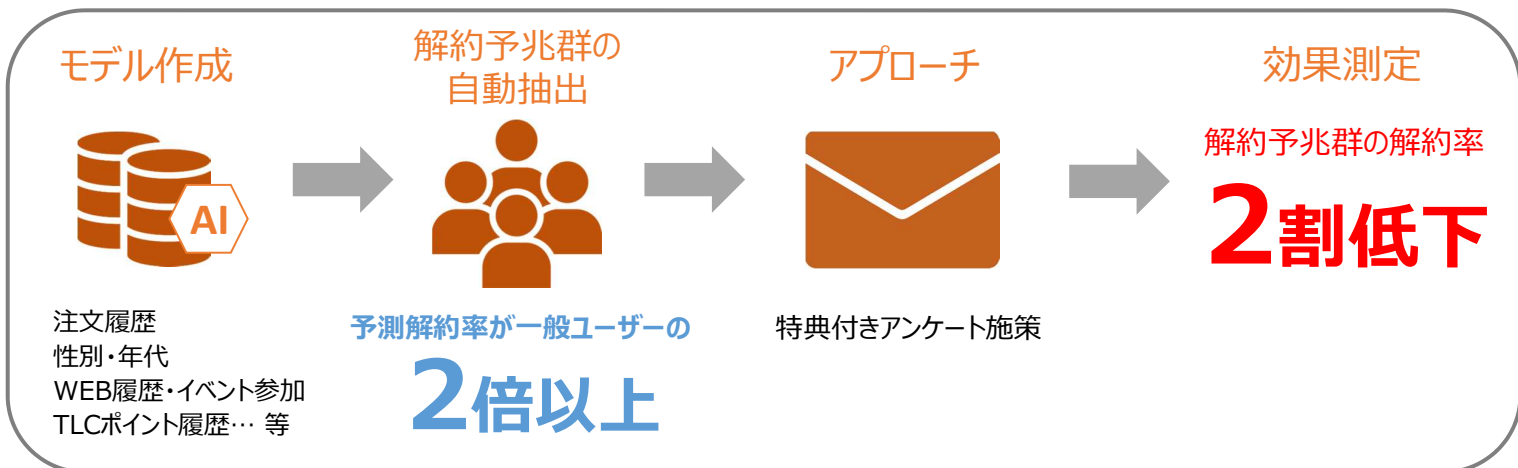
「ABCIR+S」戦略の進捗

A(AI)・B(Big Data)・C(Cloud)・I(IoT)・R(Robotics)+S(Smart Phone)
当社グループの技術革新に向けた戦略。
それぞれの頭文字を繋げた独自の造語

リアル×デジタルによるマーケティング強化

- D-sapiens(ディーサ)はBigData・AI分析により、顧客の行動パターンを高度に予測
- 上期はアクアの解約予兆顧客を見出し、解約抑止策を実践。解約率は2割低下

〈解約しそうな顧客を自動抽出、特典付きアンケートを実施〉

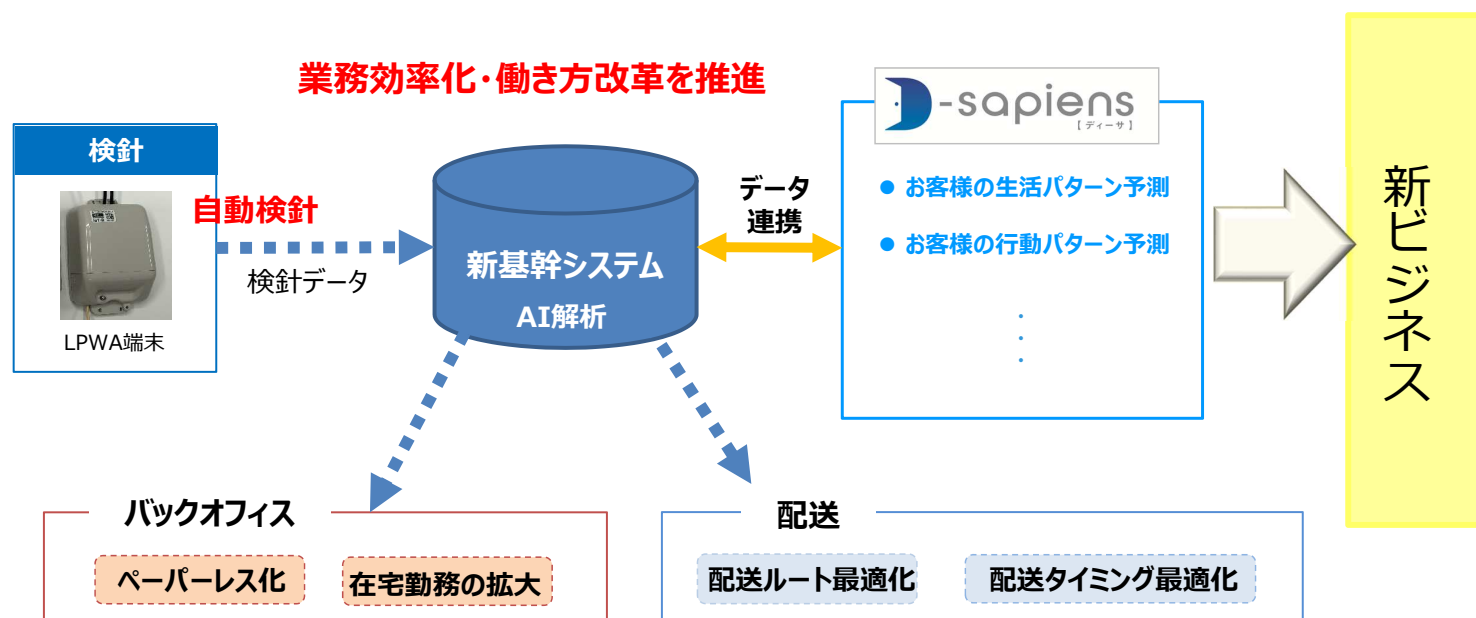


下期は **D-sapiens** と **TLC会員サービス** を組合せた
数十種類のクロスセル・リテンション施策を本格的に実践

事業効率化への取り組み

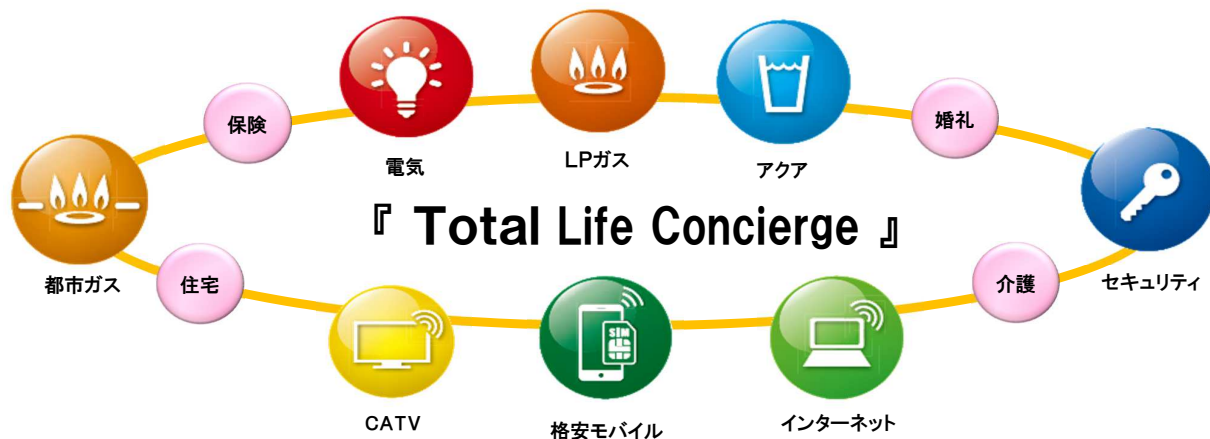
ICTを活用、業務効率化・働き方改革を推進

- 最新のICTを活用した新たな基幹システムを活用し、業務効率化や働き方改革を推進
- LPガス事業において、LPWA端末を活用した自動検針化を推進し、取得した検針データをAIで解析することで、配送タイミングや配送ルート最適化など配送業務の効率化を追求
- 取得したデータを「D-sapiens(ディーサ)」と連携することで個々のお客様毎の生活パターンや行動パターンを予測し、新たなビジネスの開拓にも繋げていく



複数取引率は2020年度末までに20%以上

- ▶ TLC(トータルライフコンシェルジュ)をグループビジョンに掲げ、当社グループが提供する様々なサービスにより、お客様の快適な生活を総合的、且つきめ細やかにサポート
- ▶ TLCビジョンを具現化し、お客様のライフタイムバリューを高めるため、複数取引率を向上
- ▶ 2020年度末までに複数取引率を20%以上まで高める計画



FY2019

2020年9月末

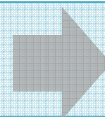
FY2020

複数取引率

18.8%



19.5%



20.0%

16

TLCの具現化に向け、新規事業創出

- ▶ お客様の生活の役に立つ、暮らしのニーズを先取りした「安心・安全」、「便利・快適」、「喜び・生きがい」の提供を実現
- ▶ TLCビジョンの具現化のため、新規事業の創出に向けて取り組む

安心・安全

新規事業



既存事業



便利・快適

新規事業



既存事業



喜び・生きがい

新規事業



既存事業



17

ヘルスケアサービスの検討も進捗

健康を基礎に、今後の人生が
より豊かで生きがいのあるものに

がんや生活習慣病等の予防と
健康増進を目的としたサービス

ヘルスケア分野で実績のある事業者様と連携
ビジネスモデルを構築

18

最後に

- 今期は中期経営計画IP20“JUMP”の最終年度としての仕上げに加え、次期中期計画に繋げる土台作りの両方を兼ね備える重要な局面

①M&Aの推進、②ABCIR+Sの実践、
③TLCの深化、それぞれが進捗

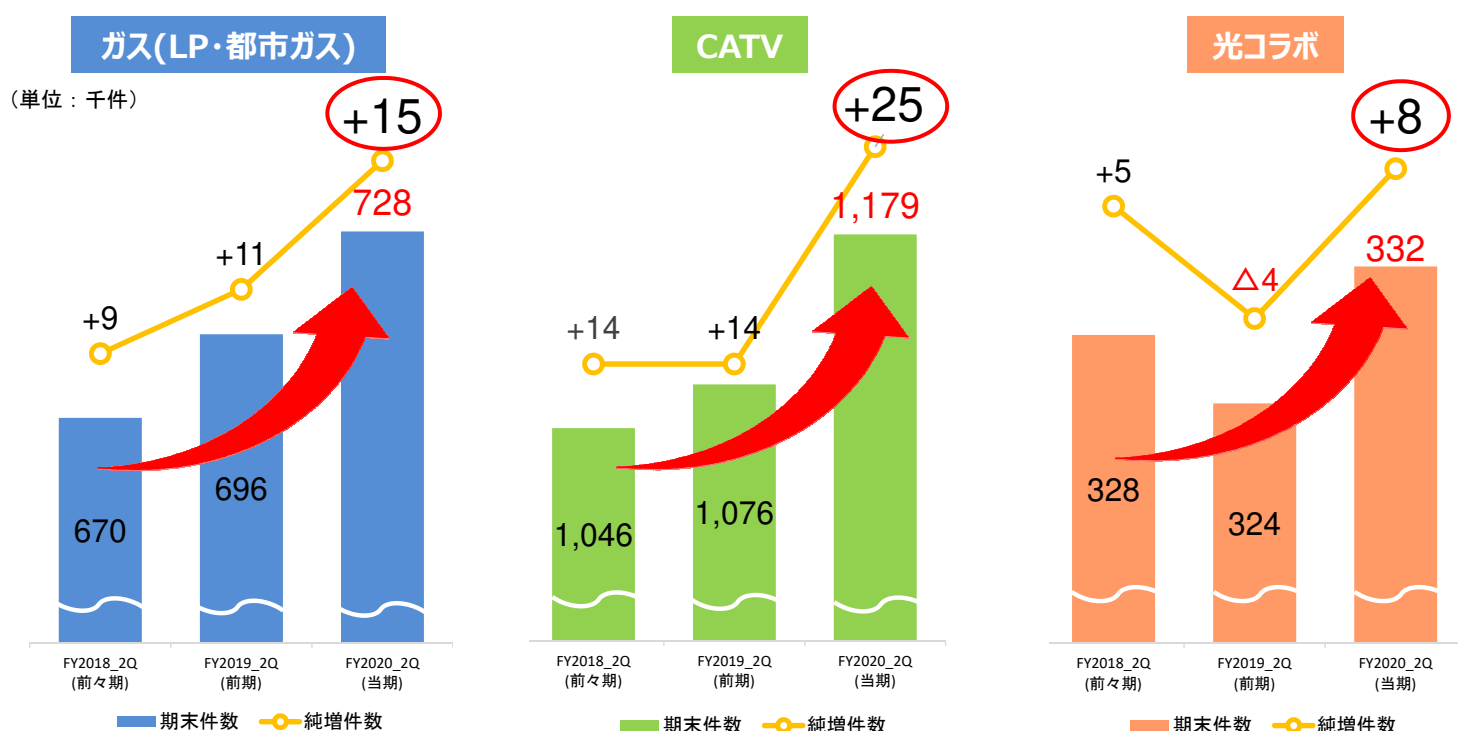
中・長期的な視点に立ち
グループの成長を方向付け

19

2021年3月期 第2四半期決算のポイント

主力事業が堅調に顧客基盤を拡大

- ◎ 当期末の継続取引顧客件数は3,042千件と、期首の3,003千件から39千件増加
- ◎ 主力のガス事業・CATV事業、光コラボが収益基盤のさらなる拡充を進捗



※千件未満四捨五入
※純増件数はM&Aによる顧客の増加を含む。

主力事業純増件数のポイント

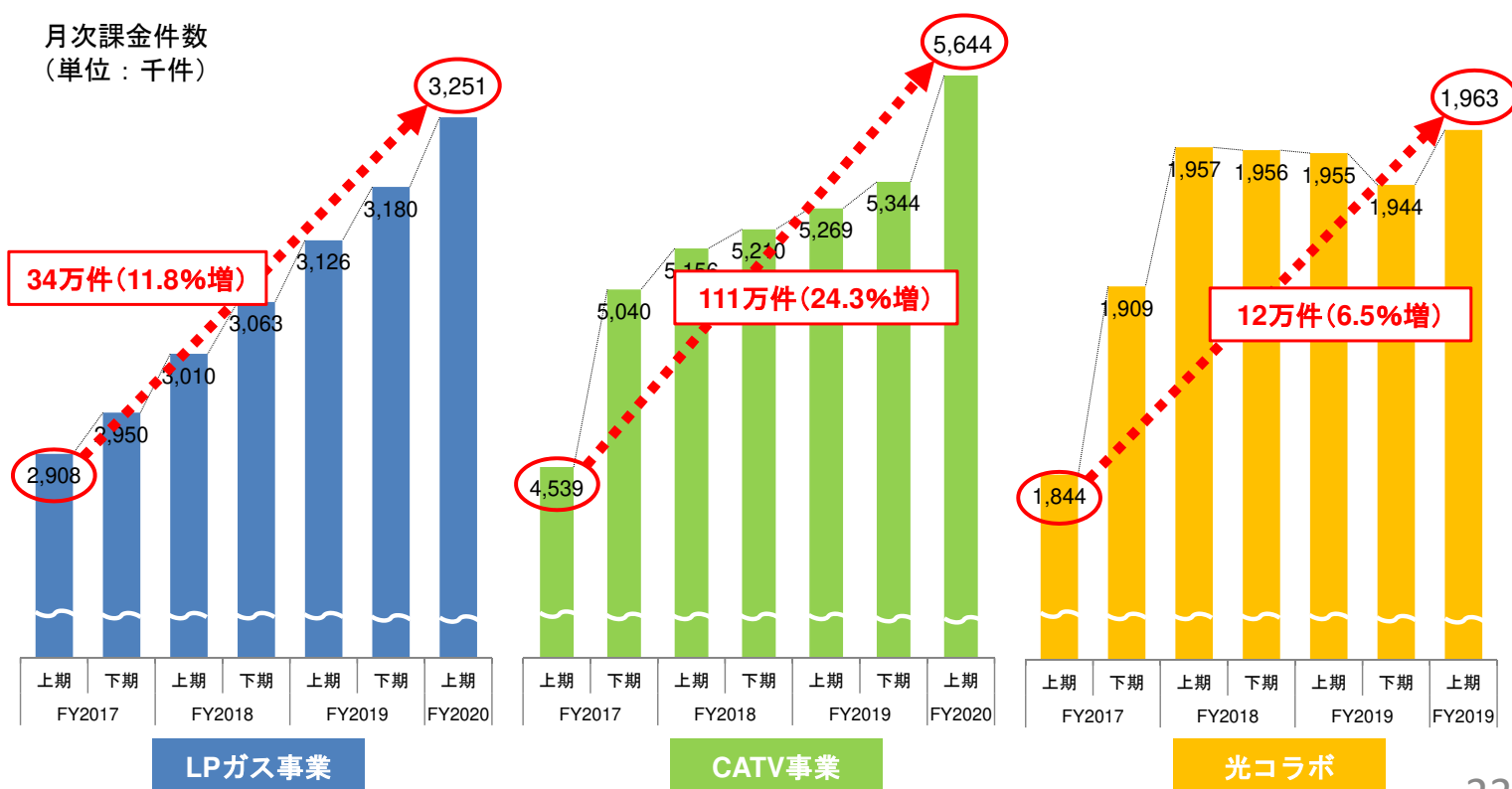
- ◎ ガス事業は商圈買収が前年同期比3割増で伸長、新規エリアでもシェア拡大
- ◎ CATV事業は通信サービスが前年同期の2.2倍に増加して大幅増
- ◎ 情報通信事業は固定 (ISP) と無線 (LIBMO) の合計で純減傾向に歯止め
- ◎ アクア事業は経済活動再開後に前年同期並みの純増ペースを回復

純増件数 (千件)	FY2020_2Q (当期)	FY2019_2Q (前年同期)	前年同期比	ポイント
ガス (LP・都市ガス) (内、商圈買収)	+15 (+12)	+11 (+9)	+4 (+3)	<ul style="list-style-type: none"> LPガスの商圈買収3千件増加 LPガスで新規エリアに進出した11拠点も+4千件
CATV (内、通信サービス)	+25 (+19)	+14 (+9)	+11 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> 通信サービスが前年同期の2.2倍に増加
情報通信 (内、ISP)	+1 (△3)	△17 (△20)	+18 (+17)	<ul style="list-style-type: none"> ISPは、新規加入の増加9,309件と、中止解約の減少7,911件により17,220件の改善
アクア	△0	+3	△3	<ul style="list-style-type: none"> 1Qは1,561件の純減も、2Qに1,314件との純増と、前年同期並みの純増ペースを回復

22

主力事業の月次課金件数が大幅に増加

- ◎ 収益基盤である顧客件数を拡大していくことにより、月次課金件数増加による収益増につながっていく



23

前年同期並みかつ計画超えの着地

- ◎ 売上高は、顧客件数増加や法人向け情報通信事業の拡大等による増収があったものの、ガスの仕入価格下落に伴う販売価格の低下、コロナ禍における営業活動の遅れが影響し減収
- ◎ 利益面は、一部の事業でコロナ影響を受けたが、顧客件数増加に伴う月次課金件数増加等による増益や法人向け情報通信事業の増益等で補い、営業利益は前年同期並みで着地
- ◎ 社内計画を上回り、通期計画に対する進捗率(36%)も過去の水準を上回る

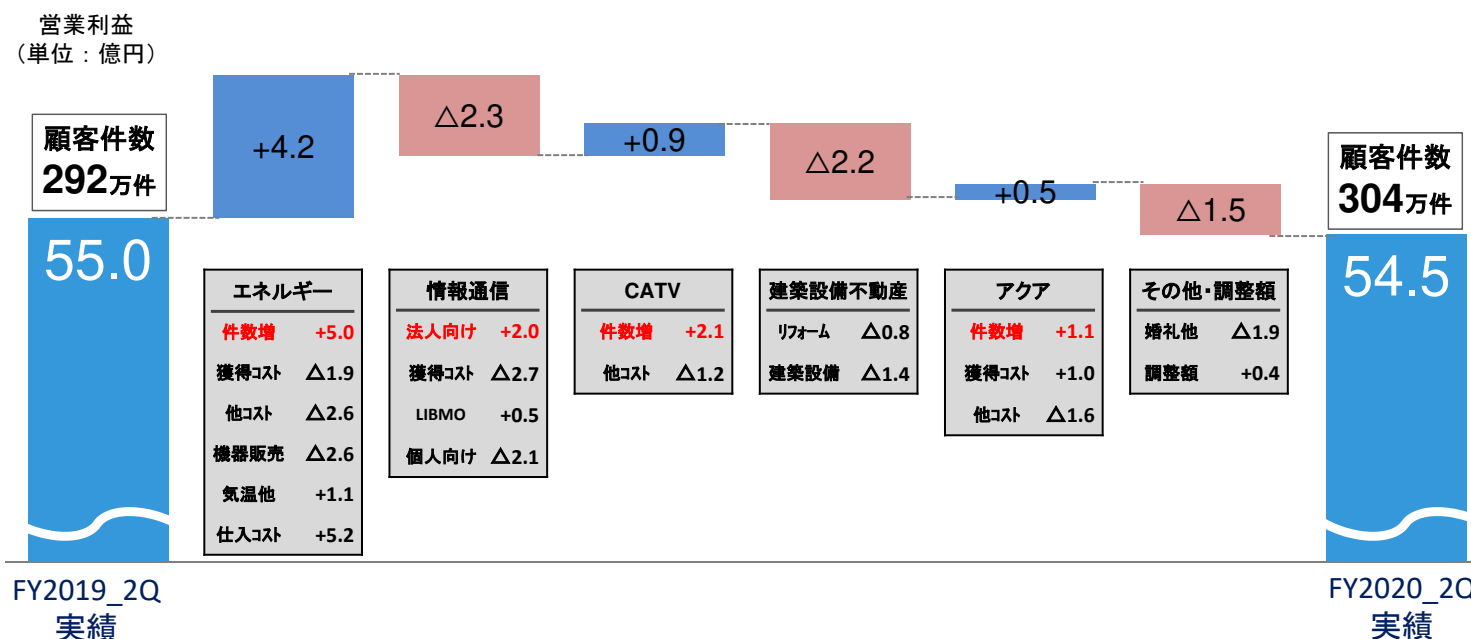
(売上高・利益:百万円、1株当たり利益:円)

	当期実績 (2020.4.1~2020.9.30)	前年同期実績 (2019.4.1~2019.9.30)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	89,836	93,015	△3,179	△3.4%
営業利益	5,452	5,500	△48	△0.9%
経常利益	5,499	5,608	△109	△1.9%
四半期純利益	3,279	3,492	△212	△6.1%
1株当たり純利益	25.04円	26.67円	△1.63円	△6.1%

24

営業利益 セグメント別前年同期比較

- ◎ エネルギー、CATV、アクアが顧客件数増加による増益を計上、法人向け情報通信も好調
- ◎ 個人向け情報通信は顧客件数減少に歯止め
- ◎ 婚礼、建築設備不動産にコロナ禍による営業活動遅れなどが影響



※増減数値は間接費用配賦前ベース

25

自己資本強化を背景に成長投資を展開

- ◎ 自己資本比率がさらに2.5ポイント向上
- ◎ 債権回収額などの運転資本の増加により営業キャッシュフローが41億円増加
- ◎ 積極的な成長投資を実施したことで投資キャッシュフローが増加、フリーキャッシュフローは前年同期並み。有利子負債/EBITDA倍率は改善

自己資本比率	38.0 % 2020年3月末	➡	40.5 % 2020年9月末
有利子負債残高	483 億円 2020年3月末	➡	483 億円 2020年9月末
営業キャッシュフロー	107 億円 2019年9月期	➡	148 億円 2020年9月期
投資キャッシュフロー	△69 億円 2019年9月期	➡	△107 億円 2020年9月期
フリーキャッシュフロー	38 億円 2019年9月期	➡	41 億円 2020年9月期
有利子負債/EBITDA倍率	1.6 倍 2020年3月期	➡	1.5 倍 2020年9月期

※2020年9月期の有利子負債/EBITDA倍率は年間見直しEBITDAによる

26

増収増益を果たして成長基調を継続

- ◎ 4期連続の増収、3期連続で最高益を更新し、成長基調を継続
- ◎ 中期経営計画IP20“JUMP”の総仕上げに加え、次期中期計画の成長に繋げる土台作りを兼ね備えた局面、引続き中長期的な成長に向け顧客基盤拡大に注力
- ◎ 「M&Aの更なる推進」、「ABCIR+Sの実践」、「TLCの深化」をテーマとして取り組む

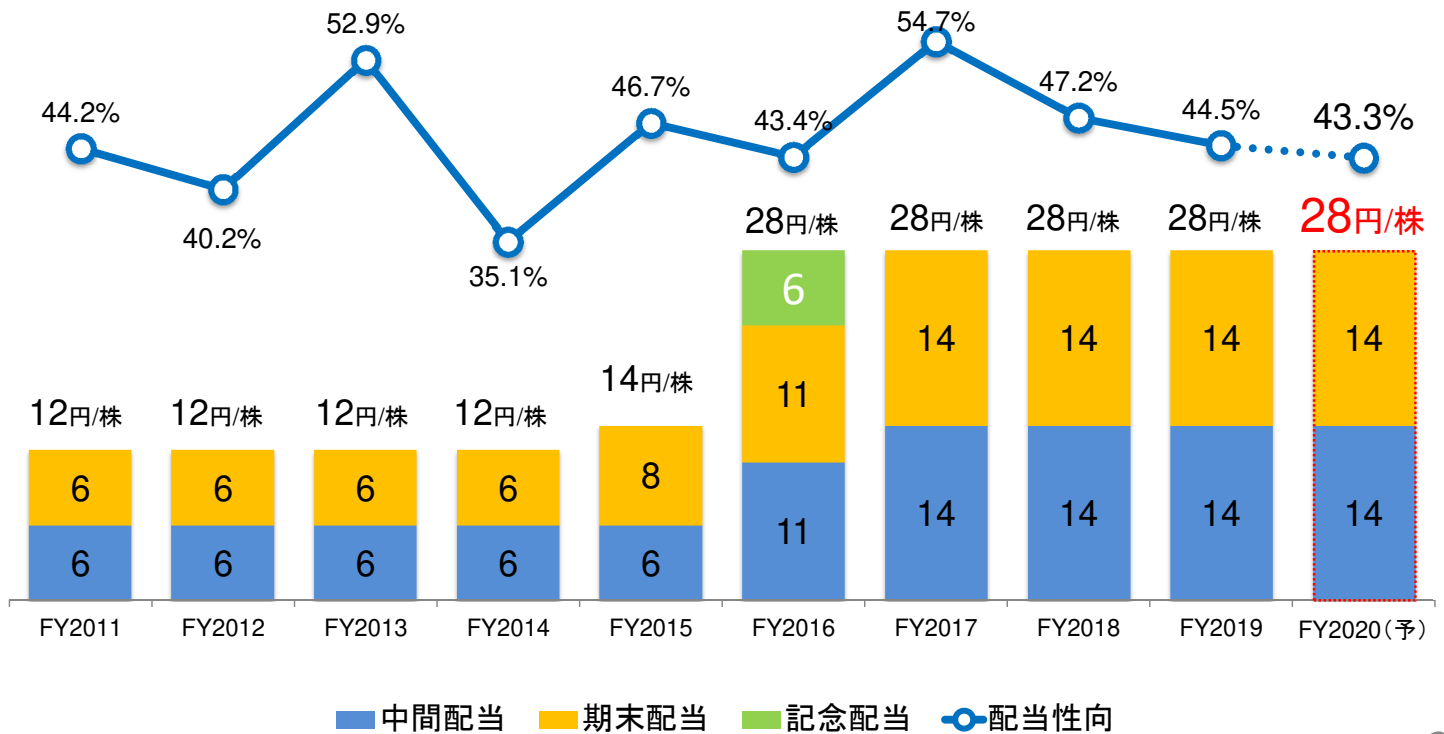
(単位:百万円)

	当期予想 (2020.4.1~2021.3.31)	前期実績 (2019.4.1~2020.3.31)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	205,300	195,952	+9,348	+4.8%
営業利益	15,000	14,224	+776	+5.5%
経常利益	14,870	14,479	+391	+2.7%
当期純利益	8,460	8,241	+219	+2.7%
1株当たり純利益	64.60円	62.93円	+1.67円	+2.7%
期末顧客件数	3,105千件	3,003千件	+102千件	+3.4%

27

継続的かつ安定的な配当に努める

- ◎ 継続的かつ安定的な配当に努めていく当社配当方針のもと、年間配当金は28円/株とする計画
- ◎ 配当性向は引き続き高い水準を維持



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス IR室
 〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番1号 浜離宮インターシティ
 TEL: (03)5404-2891
 FAX: (03)5404-2786
<https://www.tokaiholdings.co.jp>
 e-mail: hd-info@tokaigroup.co.jp

うれしいをつなぐ。ひろげる。

